

5-8 ウエペケレ

「キクレッポ チチラ ウコイソイタク ヒ アヌ」

ヤマベとドジョウが話をするのを私は聞いた

語り：貝澤とうるしの

シノ ニシパ アネ ヒネ アン…… アナン ペ ネ イケ
sino nispa a=ne hine an... an=an pe ne h_ike

私は本当の長者であって、そのように暮らしている者であって

ナニ^[1] エケシンネ アプカサン コロ
NANI ekesinne apkas=an kor

ほうぼうへと私は歩き回っていて

ルイカ アン ワ サمام…… ペツ トモトウイエ サمام…… ルイ……^[2]
ryuka an wa samam... pet tomotuye samam... ruy

橋があって倒れた……、川を横切って倒れた……、

ペツ たか ナイ たか トモトウイエ ポロ サمامニ アン ワ
pet TAKA nay TAKA tomotuye poro samamni an wa

川だか沢だかを横切って大きな倒木があって、

カシ アクシ ワ ルイカ ネ アクシ ペ ネ イケ
kasi a=kus wa ruyka ne a=kus pe ne h_ike

その上を私は通り、橋にして私は通っていたのだが、

なに あるひ ネ スイ エキムネアン アクス
NANI ARUHI ne suy ekimne=an akusu

ある日、また山へ行くと

ネア ルイカ カシ アク…… アクシ アクス
nea ruyka kasi a=ku... a=kus akusu

その橋の上を私が通ると、

オキムネ キクレッポ シネプ サニネ

okimne kikreppo sinep san h_ine

山からヤマベが一匹下ってきて

ルイカ チョロポク タ モイモイケ コロ アン。

ruyka corpok ta moymoyke kor an.

橋の下で動いていた。

オピシネ チチラ チェッポ シネプ エキネ

opisne cicira ceppo sinep ek h_ine

浜からドジョウが一匹上ってきて、

スイ ウエトウナンカラ モイモイケ パ

suy uetunankar moymoyke pa

また互いに行きあって動いていて、

オラウン イタク ハウエ アヌ ハウエ エネ アニ…… アニ。

oraun itak hawe a=nu hawe ene an h_i... an h_i.

そして言葉を発したのを私が聞き取ったのは次のようなことであった。

「オピシネ エク ワ ネプ カ アイヌ オツ タ エネ カムイ オツ タ エネ

“**opisne ek wa nep ka aynu or_ ta h_ene kamuy or_ ta h_ene**

「浜から来て、何か人間の世界にでもカムイの世界にでも

アエラナク ペ イサム ヤ」

a=eranak pe isam ya”

困ったことはありませんか」

セコロ カネ キクレッポ カムイ ハウエアン アクス

sekor kane kikreppo kamuy hawean akusu

とヤマベのカムイが言うと、

オピシネ エク チチラ エネ ハウエヘ ネ プ エネ ハウエアニ。

opisne ek cicira ne hawehe ne p ene hawean h_i.

浜から来たドジョウが話したのは、次のようなことだった。

「カムイ オツ タ アナク ネプ カ アエラナク^[3] ペ カ イサム コロカ
“kamuy or_ ta anak nep ka a=eranak pe ka isam korka

「カムイの世界では特に伝えるべきこともありませんが、

オラウン なに アイヌ オツ タ アエラムサラク ペ アン カトウ エネ アニ。
oraun NANI aynu or_ ta a=eramusarak pe an katu ene an h_i.

人間の世界に次のような心配なことがあります。

なに ポロ ワ オケレ チャペ、オッカヨ チャペ レス ウムレク オカイ ペ
NANI poro wa okere cape, okkayo cape resu umurek okay pe

大きくなった猫が、オス猫を育てている夫婦がいるのですが、

ネ オッカヨ チャペ アイヌ マタイヌ オシッコテ ヒ アニ
ne okkayo cape aynu mataynu osikkote hi ani

そのオス猫が人間の女性に惚れてしまったので、

コント ネウ カ ホクフ カラ ワ
konto new ka hokuhu kar wa

その夫をどうにかして

ライケ ルスイ コロ アン ヒ パテク タシ アシンパイ ネク」
rayke rusuy kor an hi patek tasi a=esinpay nek”

殺したがっていることだけが私は心配ですよ」

セコロ ハウエアン…… ハウエアン ウェニヨクンヌレ アキ アクス コント
sekor hawean... hawean wen iokunnure a=ki akusu konto

と言い、私はひどく驚いていると、今度は

「オキムネ サン カムイ エネ ワ アイヌ オツ タ ヘネ カムイ オツ タ ヘネ
“okimne san kamuy e=ne wa aynu or_ ta hene kamuy or_ ta hene

「あなたは山から下りてきたカムイですが、人間の世界でもカムイの世界でも

ネプ カ アエラナク ペ イサム ルウェ ヘ アン」
nep ka a=eranak pe isam ruwe he an”

何か困ったことはありませんか」

セコロ カネ ハウエアン アクス

sekor kane hawean akusu

と言うので

エネ ネア キクレッポ カムイ ハウエアニ。

ene nea kikreppo kamuy hawean h_i.

次のようにそのヤマベのカムイが言った。

「なに ソモ アン ペ キキンニ ネシコ チセ オウシ タ アエトイタ ネ ペ

“NANI somo an pe kikinni nesko cise ous ta a=etoyta ne pe

「してはならないことが、キキンニとクルミを家の側に植えることであるが、

ネ ネシコ と キキンニ チセ オウシ タ

ne nesko TO kikinni cise ous ta

そのクルミとキキンニを家のそばで、

タン ホク ネ アン ニシパ チセ オウシ タ

tan hoku ne an nispa cise ous ta

その夫である長者が、家のそばに、

ネ (?) [4] メノコル サム タ エトイタ プ

ne(?) menokoru sam ta etoyta p

その女便所の近くに植えたのだが、

ネア メノコル サム ワノ アラパ ヒネ

nea menokoru sam wano arpa hine

女便所のほうから延びて行って、

シンリチヒ オッカヨ エニヌイ ウシケ チョロポッケ エウシ ルウエ ネ。

sinricihi okkayo eninuy uske corpokke eus ruwe ne.

その根っこが男の枕のところの下にまで届いているのです。

ネ チョロポッケヘ タ

ne corpokkehe ta

その下で

エサマン^[5] ニツネヒ セツ カラ ヒネ アン ルウエ ネ ヒネ
esaman nitnehi set kar hine an ruwe ne hine

カワウソの魔物が巣を作っていて、

オラウン ネ エサマン ニツネヒ と キキンニ と ウカスイ ワ
oraun ne esaman nitnehi TO kikinni TO ukasuy wa

そのカワウソの魔物とキキンニとが共謀して、

ネ ニシパ ケウエ ウク クニ ラム コロ オカ。
ne nispa kewe uk kuni ramu kor oka.

その主人を殺そうとしています。

ネ ワ アン ペ パテク タシ アシンパイ ネク」
ne wa an pe patek tasi a=sinpay nek”

このことばかりが私は心配ですよ」

セコロ カネ ハワシ ハウエ アン。

sekor kane hawas hawe an.

ということを話した。

エアラキンネ イヌ ネ ワ アキ プ ネ コロカ
earkinne inu ne wa a=ki p ne korka

本当に私はただ聞いただけであるが、

ウエン イオクヌレ アキ ルウエ ネ ヒネ オラ
wen iokunnure a=ki ruwe ne hine ora

ひどくたまげて、

イナニ ウン ホシキ アラパアン クス ハワシ
inani un hoski arpa=an kusu hawas

どちらへ先に私は行くのがよい話だろうか

セコロ ヤイヌアナ コロカ オラ コント
sekor yaynu=an a korka ora konto

と私は考えたのだが

ナニ エピシネ ワ ホシキ アウニヒ アアッカリ ヒネ サナン ヒネ コント
nani episne wa hoski a=unihi a=akkari hine san=an hine konto
すぐに浜の方へ先に自分の家を通り過ぎて下っていき、

ネ ウムレク クル オカ ウシケヘ タ アフナナクス
ne umurek kur oka uskehe ta ahun=an akusu
その夫婦が暮らしている所へ入っていったところ、

ウエン イエラムコエシカリ キ パ ノイネ アラム パ コロ
wen i=eramukoeshikari ki pa noyne a=ramu pa kor
ひどく私を見てびっくりするようだとは思いつつながら

「マク ネ シリ イリパク (?) ワ
“mak ne siri irpak(?) wa
「一体どうして、XXXして

アコン ニシパ オマナン クニ アラム カ ソモ キ ア プ エネ イキ ヒ アン」
a=kor_nispa omanan kuni a=ramu ka somo ki a p ene iki hi an”
私はあなたが来るなんて思いもよらなかったのですが、 そんなことをしているのですか」

セコロ アン クス
sekor an kusu
と言うので、

「シネウエアン ルスイ コロ アナン ア イクス エカン シリ ネ」
“sinewe=an rusuy kor an=an a h_ikusu ek=an siri ne”
「遊びに行きたいとは思ったので、来たのですよ」

セコロ ハウエアナン アクス なに イエヤイコブンテク ヒ イェ オラ
sekor hawean=an akusu NANI i=eyaykopuntek hi ye ora
と私が言うと、私が来たことを嬉しく思うと言って、

スケ。ネア マチヒ スケ、ピリカ スケ キ、
suke. nea macihi suke, pirka suke ki,
料理をした。その妻が料理をして、おいしい食事を作り、

イネアプ スケ トムテ ワ シリキ ヤ カ アエラミシカリ ノ
ineap suke tomte wa sirki ya ka a=eramiskari no
どれほど料理が上手なのかびっくりするほどに

スケ コロ アン アイネ
suke kor an ayne
料理をしていたあげくに、

コント イペアン クス ネ プ、
konto ipe=an kusu ne p,
我々は食事をしようとしたところ、

ネン アフプ アッカ テムニコロ オパシ ネ オッカヨ チャペ
nen ahup y_akka temnikor opas ne okkayo cape
誰が入って来ても腕の中で走り回っているというあのオス猫、

キヒ ウンノ^[6] アイェ ハウエ アン ア プ
kihi unno a=ye hawe an a p
そのように呼ばれているやつが、

ソンノ カ イヤイエシル パ したり キ コロカ
sonno ka i=yayesiru pa SITARI ki korka
本当に私に体を何度もすりついたりしたが、

ソモ アヌカラ アペコロ アナン アクス
somo a=nukar apekor an=an akusu
私は見ないふりをしていたところ、

オロワノ ヤイエシル パ イサム ペカ イキ。
orowano yayesiru pa i=sam peka iki.
私の側を通りながら体をすりつけた。

タネ チセコロクル ホシキ オイペピ メノコ カツケマツ イオ ヒネ アシ。
tane cisekorkur hoski oyepi menoko katkemat io hine asi.
先に奥さんは家の主人に食器によそって出した。

イヘコテ スイ イタンキ アシ ア プ

i=hekote suy itanki asi a p

私の前にもまたお椀を出したところ、

ネア チャペ イヤイ…… イヤイエシリパ コロ イアツカリ コン

nea cape i=yay... i=yayesirpa kor i=akkari kor_

そのネコが私に体をすり寄せながら私を通り越して、

ネア チセコロクル ヤイエシリパ ヒ エイリパク

nea cisekorkur yayesirpa hi eirpak

その主人に体をすり寄せるのと同時に、

ネア チセコロクル オイペピヒ サラ エトウプシケ オマレ イネ

nea cisekorkur oypepihi sar etupsike omare h_ine

その主人の食器にしっぽの先を入れて

スイエスイエ テク シリ アヌカン ルウエ ネ。

suyesuye tek siri a=nukar_ ruwe ne.

ちょっとかき回す様子を私は見た。

オラウン コント イペアン。

oraun konto ipe=an.

そして我々は食事をした。

「ホクレ アコン ニシパ イペ ヤン イペ ヤン」

“hokure a=kor_ nispa ipe yan ipe yan”

「さあさあ、旦那さん、お食べなさいお食べなさい」

セコロ アン。

sekor an.

と（彼らは）言った。

「マキ アオツシケ アラカ イネ イペアン カ エトランネ クス

“maki a=ossike arka h_ine ipe=an ka etoranne kusu

「あろうことか私は腹痛がして食欲がないので、

ラッチタラ イペアン クシ ネ ナ。

ratcitara ipe=an kus ne na.

ゆっくりと食事をするつもりですよ

アコン ニシパ ホシキ イペ ヤク ピリカ」

a=kor_ nispa hoski ipe yak pirka”

私の旦那さんが先に食事をするといいですよ」

セコロ ハウエアナン ア プ

sekor hawean=an a p

と私は言ったが、

ネア チャペ アプカシ ラポク

nea cape apkas rapok

その猫が歩いている間に、

やっど ネア チセコロクル オイペピ シヘコテ アアヌ ヒネ

YATTO nea cisekorkur oyepi sihekote a=anu hine

さっと私はその家の主人の器を自分の方に置いて

アオイペピ ヘコテ アアヌ ヒネ、

a=oyepi hekote a=anu hine,

私の器を彼の方にあるようにして、

ホクレ ホクレ アイペレ クス アイェ ルウエ ネ コロ

hokure hokure a=ipere kusu a=ye ruwe ne kor

「さあさあ」と私は彼に食べさせようとして言いながら

言えば、兄さんつきりしか知らん（笑う）

IEBA NIISANKIRI SHIKA SHIRAN（笑う）

ということは、主人公しか知らない

なに イペ クス アイェ ルウエ ネ ヒネ オラ

NANI ipe kusu a=ye ruwe ne hine ora

食事をするよう私は言って、

アプカサプカシ コロ アニネ チャペ キ ラポッケ

apkasapkas kor an ne cape ki rapokke

その猫が歩き続けている間に、

ネア メノコ エウン アロロキシネ

nea menoko eun arorkisne

その女にこっそりと

「トアン チャペ オイペピ タパンペ オタ」

“toan cape oyepipi tapanpe ota”

「あの猫の皿にこれをあけて」

セコン ネ オロ サラ オマレ シリ アヌカラ ペ アイェ コロ

sekor_ ne oro sara omare siri a=nukar pe a=ye kor

と、その中に尻尾を入れた様子を私が見たことを言いながら、

アオマレレ アクス ソンノ カ オリパク ペ ネ クス

a=omarere akusu sonno ka oripak pe ne kusu

私は入れさせたところ、(奥さんは) 本当に礼儀正しい人なので

ネ チャペ オイペピ オタ ルウェ ネ ヒネ

ne cape oyepipi ota ruwe ne hine

その猫の器にあけて、

オラウン ネア ニシパ カ イペ ルウェ ネ ヒネ オカアン ラポッケ

oraun nea nispa ka ipe ruwe ne hine oka=an rapokke

そしてその主人も食事をして、そのように私たちはしているときに、

ソンノ カ イペ ルスイ ワ ネ ノイネ アラパ ヒネ

sonno ka ipe rusuy wa ne noyne arpa hine

(猫は) 本当に腹が減っている様子でそこへ行って、

ネア オイペピ アオタ クス アエプ エ コロ アン ア プ

nea oyepipi a=ota kusu aep e kor an a p

例の器、私がそこにあけると言ったものを食べていたのだが、

エ オケレ ワ ヘネ ヤ、マク ネ ワ ネ ヤ、
e okere wa hene ya, mak ne wa ne ya,
食べ終わるが先か、どうしたことか、

エクシコンナ ホチカチカ ヘネ トウルセ ヒクス
ekuskonna hocikacika hene turse hikusu
突然もがき苦しんで、バタッと倒れたので、

エウン アトイコキッキク イネ アライケ ルウェ ネ アクス
eun a=toykokikkik h_ine a=rayke ruwe ne akusu
そこへ私はめったうちにして、殺してしまうと、

ネア アイヌ ニシパ ネ ヤ メノコ エネ ハウエオカ イ。
nea aynu nispa ne ya menoko ene haweoka h_i.
その主人と妻はこのように言った。

「ポ カ アサク ペ ネ ワ ポ カ アオマプ ルスイ クス アレス プ ネ ア プ
“po ka a=sak pe ne wa po ka a=omap rusuy kusu a=resu p ne a p
「私たちには子がなく、子をかわいがりたくて、大事に育てていたのだが、

マク アコン ニシパ イキ シリ アン」
mak a=kor_ nispa iki siri an.”
私の旦那は何てことをしてくれたのか」

アイペレ クス アイエ ヒケ カ ウエン ア プ オラウン
a=ipere kusu a=ye hike ka wen a p oraun
私が（猫に）食べさせるよう言ったことも悪かったのだが、

チシ コロ アニクス イルシカアン コロ
cis kor an h_ikusu iruska=an kor
泣いているので、私は腹を立てて、

「セレマッコン ルスイ ペ ネ コロカ エネ ハウエアニ ネ ヤ
“sermakkor_ rusuy pe ne korka ene hawean h_i ne ya
「憑神にしたいものであるが、そのように言っているのか？

タップネ カネ エキムネアン アクス

tapne kane ekimne=an akusu

これこれこのように、私が山に行くと

キクレッポ カムイ チチラ カムイ ウコイソイタク ハウエ アヌ ワ

kikreppo kamuy cicira kamuy ukoysoytak hawe a=nu wa

ヤマベのカムイとドジョウのカムイが話し合っているのを私は聞いて、

エチカシ アオピウキ クス エカン ルウエ ネ イケ

eci=kasi a=opiwki kusu ek=an ruwe ne h_ike

あなたたちを助けるために私は来たのであるのに、

ヘマンタ エイエ ハウエ ネ ヤ」

hemanta e=ye hawe ne ya”

何てことをあなたたちは言っているのか」

セコロ ハウエアナン コロ イルシカアン アクス

sekor hawean=an kor iruska=an akusu

と私は言って腹を立てたところ、

ネア メノコ アナク チシ コロ

nea menoko anak cis kor

その女は泣きながら、

「アコン ニシパ エキサマクン アヘコテ ニシパ ライ ヒ アン ハウエ ネ」

“a=kor_nispa ek isam y_akun a=hekote nispa ray hi an hawe ne”

「旦那さんが来なかったら、私の夫が死んでしまうところでした」

セコ(ロ) アン。

sek(or) an.

と言った。

ネア ニシパ カ コント イコヤヤパプ イヤヤ…… チシ ロク チシ ロク。

nea nispa ka konto i=koyayapapu i=ye a i=ye a... cis rok cis rok.

その主人も私に詫びを何度も言い、ずっと泣いていて、

ナニ オラウン スイ アラパアニネ ネ オクシ アラパアン ルウェ ネ アクス
nani oraun suy arpa=an h_ine ne okus arpa=an ruwe ne akusu
そして、また私は反対方向に行った。

ソンノ カ タネ アナクネ ハウ ヌ カ ヌクリ ノ アニネ
sonno ka tane anakne haw nu ka nukuri no an h_ine
本当に今や（猫のことをなげく）声を聞くのも嫌になって（?）、

「なに イエンコロケ タ ニシパ キ ルウェ ネ」
“NANI i=enkoroke ta nispa ki ruwe ne”
「川上の長者がそうしている（危険な状態にある）のだ（?）」

ヤカイエ コロ アラパアン ルウェ ネ。
yak a=ye kor arpa=an ruwe ne.
と私は言いながら行ったのだ。

ピリカ シルワンテアン アクス
pirka siruwante=an akusu
私はよく様子を見たところ、

ソンノ カ メノコル カランケ アエトイタ キキンニ シンリチヒ
sonno ka menokoru karanke a=etoyta kikinni sinricihi
本当に女便所の近くに植えられたキキンニの根が

エロンネ ワ シトゥリ ルウェ カ アエラマン ルウェ ネ ワ オラウン
eronne wa situri ruwe ka a=eraman ruwe ne wa oraun
東側から伸びている様子を私は見て取ったので、

コント ネ くるみ カ アン ルウェ ネ イクス
konto ne KURUMI ka an ruwe ne h_ikusu
そのクルミの木もあるものだから、

コント アラパアン ヒ ワ モイレ。
konto arpa=an hi wa moyre.
私が行くのも遅れてしまった。

「マク ネ シリ アン。

“mak ne siri an.

「どうしたことだろうか。

エク クニ アラム カ ソモ キ ア ニシパ エク シリ アン」

ek kuni a=ramu ka somo ki a nispa ek siri an”

来るとも私は思っていなかった旦那さんが来たようだよ」

セコロ ハワシクス

sekor hawas h_ikusu

と話しているので、

「アエラナク ペ アナク アイェワ ホタヌアン クス エカン ルウェ ネ ナ。

“a=eranak pe an y_ak a=ye wa hotanu=an kusu ek=an ruwe ne na.

「心配なことがあると言われたので、私は見舞いに来たのですよ。

ホクレ ウサ トンカ ウサ クプカ コロ ウサムカ コロ ワ

hokure usa tonka usa kupka kor usamka kor wa

はやく唐鍬やら畝立鍬やらを一緒に持って来て、

トアン キキンニ と ネシコ シンリチ ポイ シンリチ ウンノ オプシ ヤン。

toan kikinni TO nesko sinrici pon_ sinrici unno opusi yan.

そのキキンニとクルミの根、小さな根まで掘り返しなさい。

ヤク エウン アラパ イ エチヌカン ナ。

yak eun arpa h_i eci=nukar_ na.

そうするとその向かって行く先をあなたたちは見ることになるよ。

オッカヨ ホツケ イ

okkayo hotke h_i

男の寝所、

オッカヨ エニヌイ ウシケ チョロポツケヘ オク オシンリッコロ ワ

okkayo eninuy uske corpokkehe ok osinritkor wa

男の枕の場所の下に引っかかって、そこに根をもち、

オラウン オロ タ トイ エサマン ウェン エサマン カ
oraun oro ta toy esaman wen esaman ka
そこに悪いカワウソ腐れカワウソが

キキンニ コケウトウムコロ ワ
kikinni kokewtumkor wa
キキンニと意を通じて、

アイヌ ニシパ ライケ クニ ラム コツ チ^[7]…… セツ カラ ワ
aynu nispa rayke kuni ramu kor_ ci... set kar wa
人間の旦那を殺そうという気持ちを持って、巣を作って

オロ タ アン ルウェ ネ ナ。
oro ta an ruwe ne na.
そこにいるのですよ。

イカン アオラウキ ナ」
ikan a=orawki na”
取り逃がしてはいけませんよ。」

セコロ ハウェアナン コロ アシカスイレ パ ヒネ シロウリ パ アイネ
sekor hawean=an kor a=sikasuyre pa hine sirouri pa ayne
と言って、私は自分を手伝わせて皆で掘ったところ、

チセ チョロポク チセ シッケウ ソパ ソイナ ワ アナン ワ
cise corpok cise sikkew sopa soyna wa an=an wa
家の下、家の隅、家の上座の外側に私たちはいて、

キラ クニ ア ヒ アン (?) ペ ネ クス
kira kuni a hi an (?) pe ne kusu
逃げようとしていたので (?)

インネ オッカイポ ウタラ イカスイ ワ シロウリアニネ
inne okkaypo utar i=kasuy wa sirouri=an h_ine
大勢の男たちが私を助け、私たちは掘って

ネウン ネウン イキアン アイネ

neun neun iki=an ayne

あれこれとすると、

ソンノ カ ウエン エサマン トイ エサマン セツ カラ ヒネ

sonno ka wen esaman toy esaman set kar hine

本当に悪いカワウソ腐れカワウソが巣を作って、

セツ オツ タ ホツケ ワ アン ルウェ ネ。

set or_ ta hotke wa an ruwe ne.

巣に横になっていた。

コント アキッキッキネ アトイコタタ アムンコタタ オラノ

konto a=kikkik h_ine a=toykotata a=munkotata orano

そして私は（そのカワウソを）何度もなぐって、ひどく刻んで、ゴミとともに刻んで、

ネア エサマン カ ネア キキリ カ…… キキンニ カ ネシコ カ

nea esaman ka nea kikir ka... kikinni ka nesko ka

そのカワウソも、その虫も……キキンニもクルミも

オピッタ メノコル エトク タ

opitta menokoru etok ta

すべて女便所の前で

フムネアニ アオ イネ アムンコウファイカ。

humneani a=o h_ine a=munkouhuyka.

一カ所に集めて置いてゴミとともに焼いてしまった。

「ネプ アンクス アイヌ ニシパ エラマン して パ (?) ワ

“nep an kusu aynu nispa eraman SITE pa(?) wa

「どうしてかアイヌの長者は分かっているようで、

エネ キキンニ カ ネシコ カ アラウエンカムイ ネ アン、

ene kikinni ka nesko ka arwenkamuy ne an,

そのようにキキンニもクルミもとても悪いカムイになり、

ウエン エサマン トイ エサマン コケウトウムコロ ワ
wen esaman toy esaman kokewtumkor wa
悪いカワウソ腐れカワウソと意を通じて

イキ パイ ネ ヤクネ
iki pa h_i ne yakne
そのようにしたことならば

タネ アナクネ アッテイネ モシリ アラポクナ モシリ
tane anakne atteyne mosir arpokna mosir
もはや湿った国地下の国へ

アコオケウエ アコオテレケ シンネ ナ」
a=kookewe a=kooterke sinne na”
私が追い出して蹴落としてやるのだぞ」

セコロ ハウエアナン コロ ヤイクルカタ アムンコタタ アシリコタタ。
sekor hawean=an kor yaykurlkata a=munkotata a=sirkotata.
と私は言って、自分で草とともに刻み、地面とともに刻んだ。

アイヌ ハウ カ ヌ カ ヌクリ ア ニシパ ソイ ワ アサン
aynu haw ka nu ka nukuri a nispa, soy wa as=an
人間の声を聞くこともできなかつた長者（のために）、私は外に出たり、

アウ ワ アサン ワ イノンノイタカン アイネ
aw wa as=an wa inonnoytak=an ayne
家に入ったりして、祈り言葉を唱えていると、

ニシパ ウタラ イカスイ ワ キ アイネ アハウエヘ カ エラムアン。
nispa utar i=kasuy wa ki ayne a=hawehe ka eramuan.
旦那たちが私を手伝ってくれて、（長者は）私の言うことも分かるようになった。

オラ イタク カ キ オラウン
ora itak ka ki oraun
そして話すこともできるようになった。

ソレクス メノコ オツ タ オツカヨ オツ タ チシ コロ
sorekusu menoko or_ ta okkayo or_ ta cis kor
女の方でも男の方でも泣きながら

「アコン ニシパ エキサマ チキ
“a=kor_ nispa ek isam a ciki
「旦那様が来なかったら、

マカナク アン ペ アイエカラカラ アン シリ アン」
makanak an pe a=i=ekarkar an siri an”
一体私たちはどんな目に遭っていたでしょうか」

セコロ ハウエオカ コロ ウコパラパラク パ。
sekor haweoka kor ukoparaparak pa.
と言って声を上げて泣く。

ネア ニシパ シクヌ ア ヒ エラムオカイ ペ ネ クス
nea nispa siknu a hi eramuokay pe ne kusu
その旦那が生き返ったことを人々は分かったものだから、

エアラキンネ イコヤイライケ パ オラ
earkinne i=koyayrayke pa ora
とても私に感謝して、

アラパアン アラパアン ウエン カムイ シコイルシカレアン。
arpa=an arpa=an wen kamuy sikoyruskare=an.
私は歩きまわって悪いカムイを自分に対して怒らせた。

コント アコタヌ カ アウニヒ カ アマチヒ カ アエポタラ プ ネ クス
konto a=kotanu ka a=unihi ka a=macihi ka a=epotara p ne kusu
私の村のことも父のことも母のことも私は心配に思うので、

サナン ルウエ ネ。
san=an ruwe ne.
下っていった。

オラウン ヘンパク ヘンパク ト アナン アクス

oraun hempak hempak to an=an akusu

何日私がいたということか、

コント ネ ペニ ワ カ イコロ シケ キ ワ イコヤヤッタサ クス サプ パ

konto ne peni wa ka ikor sike ki wa i=koyayattasa kusu sap pa.

その川上からも私に宝物を用意して、私にお礼をしに下りてきた。

オピシネ たすけたしと カ イコロ シケ キ パ ワ

opisne TASUKETASHITO ka ikor sike ki pa wa

浜の方の私が助けた人も宝物を用意してくれて

アイコヤヤッタサ クス ウエカラパ ワ…… クス ニシパ イコロ

a=i=koyayattasa kusu uekarpa wa... kusu nispa ikor

私にお礼をしに集まって、長者の宝物を

イパナケ ワ イペナケ ワ アコロ ペ ネ クス

i=panake wa i=penake wa a=kor pe ne kusu

川下から川上から、私は手に入れたものだから、

チェッポ ウタラ イタク ハウエ カ アヌ ワ イオクンヌレアン

ceppo utar itak hawe ka a=nu wa iokunnure=an

魚たちが話したことも私は聞いてびっくりして、

オラ タプネ タプネ イキアン ペ ネ アクス

ora tapne tapne iki=an pe ne akusu

そうしてこれこのように私はしたので、

イテキ チセ カランケ キキンニ ネシコ アエトイタ プ ネ クス

iteki cise karanke kikinni nesko a=etoyta p ne kusu

家の側にキキンニとクルミを植えるものではないから

アエイソイタク ハウエ ネ ナ

a=eysoytak hawe ne na

このことを私は話しておくのだよ、

セコロ シノ ニシパ イソイタク。

sekor sino nispa isoytak。

と本当の長者が語った。

【注】

- [1] 貝澤とうるしのさんの語りには、アイヌ語の nani (「すぐに」) とは異なると思われるこの単語が複数の話で用いられており、日本語の「なに」から来ているのではないかと推察されるが、正確な意味がよく分らない。
- [2] ここはどう言えばいいのか一旦よく分らなくなって、次の二行でもう一度言い直しているのではないか。
- [3] ここに人称接辞 a=が付いているかどうかは微妙なところであるが、これより以前に付けて話しているので、ここでも同様だと判断した。すぐ下のもう一箇所も同じ。
- [4] 音としては e と聞こえる。
- [5] ここは esamat に近い発音をしている。
- [6] kihi anakun 「さすれば、するとしたら」、kihi an yakun 「さうすることなれば」(『久保寺辞典稿』 p. 128) などから判断した。
- [7] cise 「家」と言いそうになり、set 「巢」と言い直したのではないかと考えられる。